

幸せになるための教育を実現する会議 要旨録

日 時 令和4年6月8日（水）午後3時～午後5時
出席委員 神谷、鈴木、大崎、三浦
そ の 他 市長、企画部長、学校教育課主任指導主事、企画課長、企画課副主幹

委員認識の共有化 POINT

- 安易な他者との比較で優劣をつけず、しっかり考えたうえで、幸せを実現してもらう。
- 個性、多様性を認め、他者を尊重する。

【意見】

- ・しっかり考えたうえで、他者との比較も幸せと感ずることは否定するものではない。（市長）
- ・自分だけ幸せであればよいなど、自己中心的なことで幸せを感じてほしくない。（委員、市長）
- ・一人一人の光るところを周りの人が認める社会が良い。（委員）
- ・多様性は重要で、いろいろな意見を認めることが大事。（委員）
- ・感謝、他者への思いやりを大切にしてほしい。（委員）

【課題】

- 幸せのための取り組みをするには現場で受け入れられることが必要である。
 - ・業務改善による教員の負担軽減
 - ・保護者の理解を得るための努力
 - ・現場の教員の想いを聞きたい。⇒アンケート調査を実施する。
- 議論を深める必要がある。
 - ・広範囲の議論が必要。
 - ・道徳（教科）と幸せ教育との違いについて理解を深めたい。⇒次回会議に議論